

全国鳥類繁殖分布調査

ニュースレター 第11号

2018年4月9日



オオルリ(西村四郎)

現地調査登録等 お願いします

2年間の調査が終わり、半分以上の調査コースの調査を実施することができました。しかし、まだ調査の責任者の決まっていないコースがあります。実施可能なコースがあれば、その登録をお願いします。また、調査コースの責任者登録をいただいた後、調査ができていないコースもあります。もし、諸事情で調査の実施ができなくなってしまった場合は、お早めにご連絡ください。

連絡先: 全国鳥類繁殖分布調査事務局: bbs@bird-research.jp

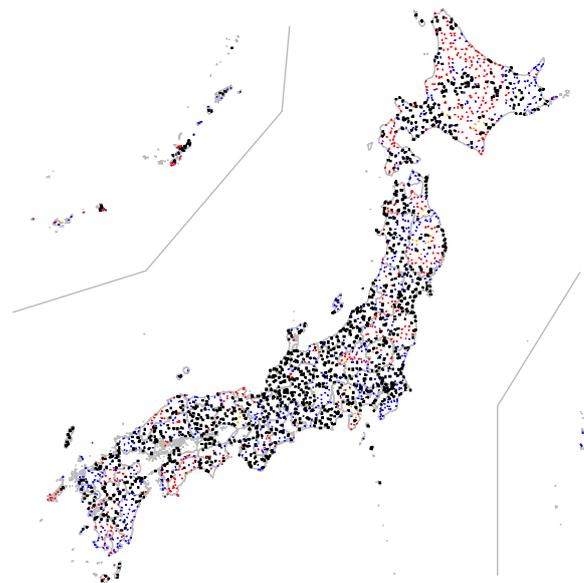
全国鳥類繁殖分布調査へのご参加ありがとうございます。これまでに1,260コースの調査を実施することができ、調査は順調に進んでいます。お送りした年次報告にもまとめた通り、鳥たちの分布の変化も見えてきています。

調査者がまだ決まっていない地域

順調に調査は進んでいますが、まだ調査者の決まっていないコースが多くある地域もあります。調査者の決定率でいえば、高知県や群馬県が低く、また未決定のコース数についていえば北海道や岩手県に多く残っています。全国図を右図に、調査の進んでいない県を表1に示しましたので、これらの地域にお住まいの方、ぜひ調査地登録をお願いします。調査地登録の地図のURLは先日メールでお送りしましたが、忘れられてしまった方は事務局までお問い合わせください。

調査ができなくなった場合はお知らせを

また、調査地登録はしたものの、諸事情で調査できなくなってしまった方もいらっしゃると思います。そのような調査地は、調査者を再募集しますので、お早めに事務局までご連絡ください。



調査の実施状況. 赤がまだ調査者の決まっていない調査地

表1 調査の登録や実施の進んでいない地域

調査実施率	調査者決定率	未決定コース数
佐賀県 6.7	高知県 34.8	北海道 186
群馬県 17.5	群馬県 52.5	岩手県 38
岩手県 23.8	岩手県 54.8	高知県 30
高知県 26.1	沖縄県 56.9	福島県 26
鹿児島県 27.6	島根県 60.5	沖縄県 22
宮崎県 30.2	北海道 61.6	鹿児島県 22
島根県 36.8	福島県 62.3	青森県 20
沖縄県 37.3	福岡県 65.8	群馬県 19
山形県 37.3	徳島県 66.7	島根県 15
徳島県 38.1	京都府 66.7	福岡県 13
		山形県 13

積雪減の影響？ 越冬分布を 広げるアカハラ、オオバン…

昨年から実施している越冬分布調査ですが、日本海側や北の地域など情報が少ないものの、各種鳥類の分布図が描けています。ヒクイナなどが九州から東に分布を拡大していること、アカハラやオオバンなどが日本海側や北の地域で分布を拡大していることなどが見えてきました。



ヒクイナ(大谷吉次)

越冬期の鳥の分布も把握

全国鳥類越冬分布調査にご協力いただきありがとうございます。全国鳥類繁殖分布調査の派生調査として昨年より調査を開始し、これまでに、273名の方に情報収集にご協力いただきました。

これらの情報に日本野鳥の会の各支部の探鳥会記録、バードリサーチの野鳥データベース「フィールドノート」に入力いただいたデータもあわせ各種鳥類の越冬分布を描くことができました。

特に日本海側や北の地域など情報がない地域も多く(図1)、まだまだ穴だらけの分布図で、「分布が縮小した種」については評価できませんが、分布が拡大した種についてはその状況が少しずつ見えてきました。

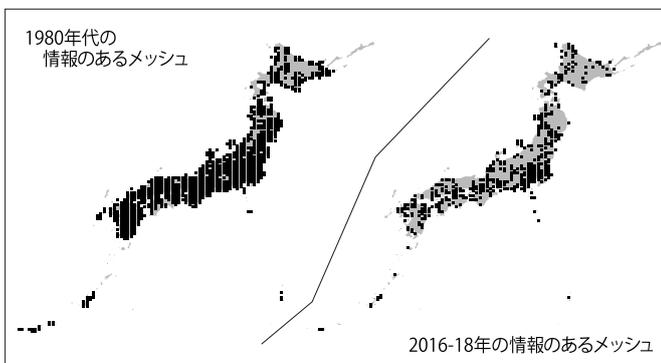


図1 環境庁が1984-85年に実施した越冬分布調査情報のあるメッシュと、今回情報の集まっているメッシュの比較

西から広がるヒクイナの越冬分布

リュウキュウサンショウクイの分布が広がっていることはこれまでも何度かニュースレターでご報告してきましたが(三上 2016)、同様にヒクイナの分布も拡大していることが今回の調査でわかりました(図2)。ヒクイナは茂みに隠れていて見つけにくい鳥です。鳴き声もクイナと勘違いされていたりして、それだけに1980年代の分布がどれ



図2 ヒクイナの越冬分布の1980年代と今回の比較

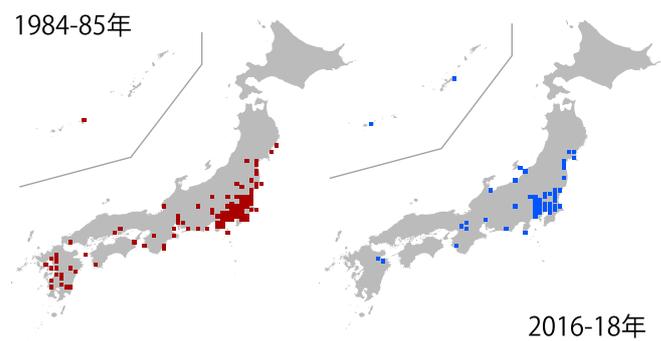


図3 アカハラの越冬分布の1980年代と今回の比較

くらい正しいのか慎重に考慮しつつ、今後の動向に注目していきたいと思います。

積雪や温暖化の影響？

これまで日本海側や北日本などで越冬していなかった鳥の分布の拡大がいくつかの種で見られました。例えばアカハラ。繁殖期の分布が縮小していることは、2016-17年報告でお知らせしましたが、越冬分布は北へ広がっているようです。アカハラは太平洋側で越冬する種で、1980年代は日本海側で記録があるのは福井県だけでしたが、今回はすでに富山県や新潟県などでの記録が寄せられています(図3)。同様にオオジュリンも1980年代には記録されていない秋田県や青森県での



寒冷地へと越冬分布を拡大させていたオオジュリン(柴田佳秀)とオオバン(今里順一郎)

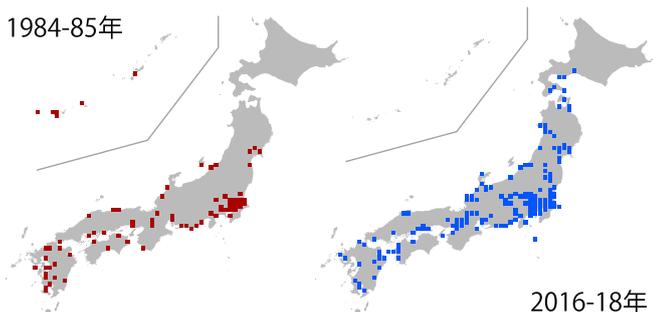


図4 オオバンの越冬分布の1980年代と今回の比較

記録が寄せられています。今回の調査では日本海側の情報が少ないので、これから記録は続々と増えていくものと思われま。日本海側での記録をお持ちの方はぜひ提供をお願いします。

また、水鳥については、ガン類の越冬地が北上していることが有名で、今回の調査でもそれが裏付けられています。オオバンの分布北上も顕著でした(図4)。1980年代の北限は宮城県でしたが、今回は、秋田県、青森県、北海道南部でも記録されています。オオバンは全国的に個体数が増えている鳥なので、分布の北上にはこの増加の影響も含まれていると思います。しかし、積雪の減少で採食条件が良好になっていること、温暖化により水域の凍結していない場所が増え、安全な休息場所ができたことも大きく影響していると思われま。

アカゲラの関東での越冬分布拡大

ローカルな分布拡大もあります。おそらくほかにもたくさんあるのだと思いますが、関東在住者がパッと気付くことができるのは関東での分布拡大。アカゲラの分布拡大が目にとまりました。アカゲラの勢力圏の関東では比較的標高の高い山の鳥というイメージのあるアカゲラですが、低山でも見られるようになり、冬期では平地の林

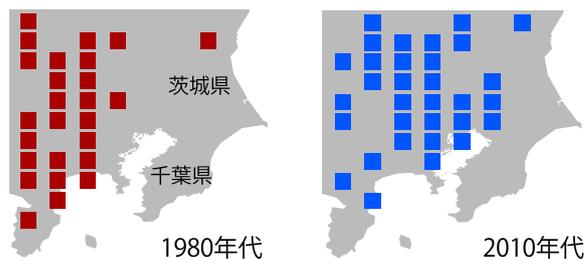


図5 アカゲラの関東での平地への越冬分布拡大

でも記録されるようになってい。ここ数年は多摩地域の雑木林でも冬期は割と普通に見られるようになってい。将来は繁殖分布も変わってくるのでしょうか？

皆さんの地域でも越冬分布が変わっている鳥いるでしょうか？ 全種の越冬分布を

<http://www.bird-atlas.jp/resultwin.html>

で公開していますので、もし気づくことがあれば、教えて下さい。

越冬期の観察記録をお知らせ下さい

繁殖分布調査は決まったコースの現地調査を中心に実施していますが、越冬分布調査は、皆さんの普段の観察記録から分布図を描いています。皆さんの記録をぜひお寄せください。野鳥記録データベース「フィールドノート」(さえざりナビでの入力も可能です)をお使いいただくか、あるいは越冬分布調査専用の情報送信フォーム(<http://www.bird-atlas.jp/wba.html>)からご報告ください。独自にエクセルなどで入力されているようでしたら、場所(緯度経度か住所)と日付があれば、データにできるので、そういったものがあれば、メールください。<http://www.bird-atlas.jp/data/wba.xls>のエクセルフォームを使っていただくのも歓迎です。ご協力よろしくお願いいたします。

【植田睦之 バードリサーチ】

茨城県と東京都の詳細調査 コース登録受付中！

昨年から実施している東京での詳細調査に加え、今年から茨城での詳細調査(5kmメッシュ)が始まります。20kmメッシュで実施している全国調査ではなかなか環境との関係まではわかりませんが、詳細調査ではそうした解析もできそうです。ぜひ調査にご参加ください。



朝日の中調査中(小川加代)

全国調査に加え、一部の地域では、より詳細な分布を明らかにするための詳細調査を実施しています。昨年は東京都全域と茨城県水戸市で実施しましたが、今年からは茨城県では全県で調査を実施することにしました。

昨年の調査では、東京都と水戸市の鳥類相の違いを明らかにし、詳細な分布図も作ることができました(図1)。今年はさらにデータを充実させ、過去からの分布の変化とその原因について明らかにしていきたいと考えています。東京都、茨城県在住/在勤の方は、ぜひ調査にご参加ください。

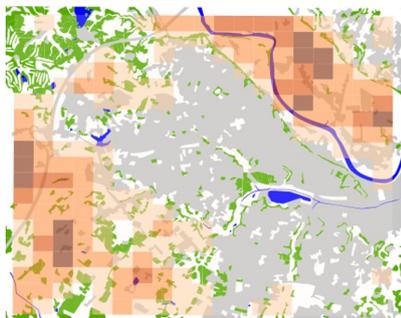


図1 調査結果をもとに推測した水戸のヒバリの分布図。色の濃さが個体数の多さを示す。

・茨城県繁殖分布調査

茨城県では今年から5kmメッシュの調査を始めます。現在、調査コースの登録を開始したところです。茨城県在住の方、近隣県在住の方はぜひ登録ページをご覧ください。調査できそうなコースがあれば、調査登録をお願いします。

<http://www.bird-atlas.jp/ibaraki.html>

・東京都繁殖分布調査

東京都では、昨年より調査を行なっています。こちらは1kmメッシュでできるだけ多くのメッシュを調査しようと企画しており、無数のメッシュを攻略しなければなりません。東京都在住、在勤の方、自宅や職場のまわりのメッシュでの調査をぜひお願いします。

<http://www.bird-atlas.jp/tokyo/>

琵琶湖博物館で分布図作成ワークショップを開催

日本野鳥の会滋賀、琵琶湖博物館との共催で2月10日に繁殖分布調査の報告会と分布図作成のワークショップを実施しました。

最初に、これまでの2年間の成果を関西の情報を中心にお話ししました。関西の分布変化の状況は、全国傾向と共通するものが多いのですが、全国では増減に明確な傾向のない、ヤブサメ、コチドリ、ドバトが関西では減少傾向にあります。ヤブサメはさえずりが高音で高齢者には聞きにくいため、「関西の調査員の高齢化が進んでいるのが原因だったりして…」と思っていたのですが、若い方からも減少している印象があると聞き、ほっとしました。

次に滋賀県を中心とした現時点の各種鳥類の分布図を見ていただき、その間違いの確認と漏れのある情報につ

いての情報提供をしていただきました。こうした情報提供は「いきものログ」を使うと便利に情報送信できるので、その使い方についても見ていただきました。

今年度は現地調査が進んでいるその他の地域でも同様のワークショップを実施していく予定です。お近くで開催のときにはぜひご参加ください。



現地調査のQ & A

まもなく繁殖分布調査の3年目の現地調査が始まります。今年は、サントリー世界愛鳥基金の助成の最終年です。昨年以上の調査をしたいと考えています。調査コースをご登録いただいたみなさまは、ぜひ今年、調査を実施していただけますよう、お願いいたします。ここでは、調査にあたって、質問の多い項目についてQ&A形式でお答えします。



ウグイス(豊田敏則)

○ 調査コースについて

Q 調査コースにあまり鳥が多くなさそうなのですが

A 環境の変化などにより、現在のコースが鳥の多くない環境になっている場合があります。今回の調査の目的は、鳥の現状を調べることと共に、過去からの変化を知ることです。鳥が少なくなったことも自然保護上、重要な調査結果なので、そのコースの調査が可能であれば、そこでの調査の実施をお願いします。ただ、それだけでは、そのメッシュに生息する鳥を記録しきれない可能性がありますので、アンケート調査で補完していただくとともに、可能ならば、鳥の多い環境に「任意定点」を設置して調査していただくと助かります。

Q 調査コースが荒れて通れなくなっているのですが

A 20年前のコースですので、林道の荒廃などで通れなくなっているところもあります。そのような場合は、コースを変更してください。コースの一部を変更する場合は、ご自身の判断で変更して構いません。コースの場所全体を移動させる場合は、同じサブメッシュ(2次メッシュの4分の1)内の同じような環境の場所に移動していただく必要があります。山の中のコースで近くにコース設定をするのが難しい場合は、同一2次メッシュ内に設定してください。2次メッシュの範囲などがわからない場合は、事務局にご相談ください。

Q 定点2の方からスタートしてもよいの？

A 定点2側からスタートしてもOKです。ただし、前回と比較ができるよう、定点2の記録は、「定点2」として記録してください。先に調査したからといって定点2を定点1として記録しないように、ご注意ください。

Q 調査地で過去に記録された鳥を知りたいのですが

A すでにこちらからお送りしている方もいらっしゃいますが、ご希望の方は、事務局にお問い合わせください。

○ 現地調査について

Q 調査用紙などはどうやって手に入れるのでしょうか？

A ホームページで公開しています。以下よりダウンロードしてください。郵送を希望される方は事務局にお問い合わせください。 <http://www.bird-atlas.jp/yoshi.html>

Q ルートセンサスと定点で両方見られた鳥はどうしたらよいですか？

A ルートと定点は別の調査なので、同じ個体でも、それぞれで記録してください。定点が途中にある場合はルートセンサスを途中で中断して、定点調査を行ない、再びルートセンサスをしますが、中断前と中断後で同じ個体をダブルカウントしないように、注意してください。

Q 調査はいつ行なえばよいのですか？

A 2020年までの、いずれかの年に実施してください。繁殖鳥の調査ですので、その場所で繁殖する鳥がそろった時期に実施してください。関東でしたら、カッコウ類が飛来した後の、5月中下旬くらいからでしょうか。

Q 現地調査結果の提出方法は？

A パソコンが使える場合はExcelに入力してお送りください。すべての種について、観察コードを記入し、入力ファイルは以下のフォームからお送りください。
<http://www.bird-atlas.jp/mpmailec/form.cgi>
パソコンが使えない場合は、調査用紙を提出してください。「観察コード」を必ずご記入ください。

Q 調査中にケガをしてしまった

A ボランティア保険に加入しています。事後で構いませんので、状況をご連絡ください。対人対物補償2億円、自身のケガなどの場合は死亡500万円、後遺症5-500万円、入院3,000円/日(手術特約あり)、通院2,000円/日がです。

Q 交通費などはですか？

A 今年もサントリー世界愛鳥基金からサポートをいただけることになったので、実費プラスアルファの費用をお支払いします。請求書は以下のフォームをご覧ください。ただし原則1調査地1名分とさせていただきます。山小屋の宿泊が必要など、金額が大きくなる場合は、実費精算いたしますので、事前に事務局までご相談ください。
<http://www.bird-atlas.jp/data/money.pdf>

Q 夜行性の鳥が記録できないと思うのですが

A 夜行性の鳥は、アンケートなどで補完をお願いします。また夜間録音でカバーすることも考えています。詳細はニュースレター4号の6ページをご覧ください。
<http://www.bird-atlas.jp/news/banews04.pdf>

Q 最近リュウキュウサンショウクイやガビチョウなどが分布を広げているそうですが、どんな鳥ですか？

A ホームページで写真や声を公開しました。これを見て、彼らがいるかどうか気にしてみてください。
<http://www.bird-atlas.jp/zukan.html>

○ 任意定点について

Q 定点の事前登録は必要ですか？

A 事前にご連絡いただく必要はありません。結果をご報告いただく際に、定点の緯度・経度をお知らせください。

○ アンケート調査について

Q いつからの情報が対象になりますか？

A 2016年から2020年までです。普段のバードウォッチングの記録も、ぜひお寄せください。特に現地調査で見逃される可能性の高い、目立ちにくい鳥や猛禽類などの行動圏の広い鳥の記録をお寄せください。支部報など文献の情報もぜひお寄せください。

Q 情報の送付方法は？

A 手軽なのは、「いきものログ」(要ユーザ登録)やWEBフォーム(ユーザ登録不要)からの報告です。ご報告いただくデータ量が多い場合は、Excelに入力してお送りいただくのが楽だと思います。パソコンが使えない場合は、調査用紙を提出してください。その際は、観察コードを必ずご記入ください。
<http://www.bird-atlas.jp/send.html>

○ データの扱いについて

Q データの利用や公表はどうなりますか？

A 調査者はご自身のデータについては、希少種についてご配慮いただきつつ、自由に利用することができます。また、調査実施期間中は20kmメッシュの分布図として定期的に事務局より配信いたします。調査とりまとめ終了後は環境省の「いきものログ」から一般公開される予定です。

鳴き声の聞き取りの練習に「ライブ音聞き取り調査」に参加しませんか？

バードリサーチでは山の鳥の温暖化の影響などを明らかにする目的で、鳥のさえずり時期のモニタリングをしています。その調査の1つとして、4月1日から毎朝、各地に設置してあるライブマイクの聞き取りをしています。

ライブマイクは北海道富良野、長野県志賀高原、埼玉県秩父、山梨県山中湖に設置しており、日によって場所を変えて聞き取りをしています。このライブマイクは、どなたでも、インターネットを通して、聞くことができます。

なかなか行く機会のない場所の鳥の様子を聞くこともできますし、繁殖期の調査に向けて、鳴き声の聞き分けの「リ

ハビリ」にもなります。ご興味のある方は以下のホームページで参加方法をご覧ください。

http://www.bird-research.jp/1_katsudo/forest/img/chichibu-live.pdf

また、聞き分けのリハビリのためには、以下のホームページ「鳥の鳴き声 マイスターへの道」もお奨めです。

http://www.bird-research.jp/1_shiryoko/

鳥の声と名前を聞き流して覚える「スピードバーディング」、クイズ形式で習熟度を試せる「鳴き声クイズ」などもありますのでお試しください。

全国鳥類繁殖分布調査ニュースレター 第11号

2018年 4月9日 発行

編集:植田睦之・大島理恵・大嶽若緒・柏崎安男・小峯昇・藤田薫

© バードリサーチ・日本野鳥の会・日本自然保護協会・日本鳥類標識協会・山階鳥類研究所・
環境省生物多様性センター

URL <http://www.bird-atlas.jp> <https://www.facebook.com/birdatlasjp> https://twitter.com/bird_atlasjp